文學的昭和十年度論文試驗期目は 次の虹くである

Environment of the control of the

總長から御祝詞

十時から十二時まで西藤常で行は一階を影が内科谷融の試職は九日午前

から十一時、於理・化爆数学)から十一時、於理・化爆数学)九時

すでに百十五名

文學部の十年度 論文試驗題目

権切一月末日

學部

要(九時から十二時、於理。化 単(九時から十二時、於理。化

| マ十二人士 | マ十二人士 | 対科力奏 (九時の | 元時の | 元時の

共通科目 一後一時から三時まで行はれる

理化學(九時から十一時、

就職きまる

とは官廳方面なご

學生課の就職斡旋



呼吸器病粉 翠型 古屋前岩

靈

マナ九日(木) 力學大學(九時から十二時、於教學論(九時から十一時、於化學教室) 函等から十一時、於化學教室) 函

さはどうだらう、入つただけでもおつとするキーさはどうだんりきれと無特の長瀬、炭酸ガスの助は整いくべきものがあるに悪力ない、敷目的の犬をがたくさきものがあるに悪力ない、敷目的の犬をがたくさきのがある。

→ 十二時、於物理四)物理化學 ・十二時、於物理四)物理化學 ・十二時、於物理四)物理化學 ・十一時、於物理四)物理化學 ・十一時、於化學數(十時か ・十一時、於化學數(十時か

電気磁 午後一時から三時心 で終了する

蜷川虎三助教授

記頃の顕書館殊に第二四野室の容裏の語 圖書館にのぞむ

、第三回土産程度を展

高橋長八

追悼録

太田喜 聚體清野誰次歸

非智品質的金玉剛

土護肥料教授上の一

▼……大樹地の黴質については最高の既に養ふるところであつて大砂地の黴質に向けられて盛んに輸売の実証が対くの新聞座語に関げられて盛んに輸売の実証が対くの新聞座話に関げられて盛んに輸売を受ける。 たっては、ちょうであつて後の世界の世界の民職に出づるものである、しかるにもりったのであって後前選牒の好きも歴史の態度のところであってものである。 □原位は硝子級を転助解放して換率を行つてい 最も丁酸に苦しむところである。 方圖書室を病菌の培養傳播場たら

を嫌ふ人があるかも知れない、しかし思いたいきたい、これから実験に向ふため窓 、音等は音等自身の健康のためこれを恐ねば、されから衆気に向ふため窓の開放 書画形で後、敷成あつて彼、大杉 から桃花園で影観音を開催さ 觀光研究例會

經營學」諸問題について座演研管

十一日夜開催

なある。本書に修むる處は先生の書書、遺稿を始めとし、経験中の處、批程いよく 一田米。時代も先生の一箇景

文部省の敬譽回新許護會委員はお 八日付で融合されたが、うち

作田莊一、牧健二▼名譽敬村市 教學刷新委員

原・見返し・高級和紙 原・見返し・高級和紙

一、水稻に對する加里肥料試験の

鹽石 惣大

講演に談話に 諸會相つぐ

> の分野に継続の事を振ひ、大阪朝日の薫制記者として、その通信はインテリ 離して、政治に都清に、大阪朝日の薫制記者として、その通信はインテリ 離して、 との通信はインテリ 離している。 最新刊送報信託 ークである。後つて、ニュー スポーツに流行弊におは僧で、関市の特派

作歌道雜話 原·見巡·衛婆· 高級和紙 医 順 柳 能 医 侧 柳 能

最新刊送報信五

は戦場の軍領であり、批評家としても、活般情勢の策赦は洵に天下に をとすべきものがある。長夜徒然の良 をとすべきものがある。長夜徒然の良 としても、江田に見いるのである。

程御願申します 好

仕住りますから何卒御利用 が和拝金堂を初めました出 開店御披露



年の瀬せまり 試驗氣分一

一年を棒に振つた人もあり 受験届を忘れるな

大変性が開発としまれた機能の際に関係を取っていて大変が、現場的は関係といの中から、 に大き 関係を対して 大型 に かっている に がっている に かっている に かっ 機工業化學大関第三部(十時か 機工業化學大関第三部(十時か 四)有機工悪化學工 後一時からご時、 室) 理學部

一般的に學問は社會の意味と 会に變化すると私は考へる、 会に變化すると私は考へる、 が計學の範疇に於てもさらであった。

て--及び足利濃節らの勝河がた

關怨話會例會

川村教授の

空が組建したは登録にさり、2 映画船が に一調打なるのでは、から、一枚野漁の機・フ・町工年後・野 に見担い立って、後来の毎日、戦から、一郎「田童氏つく」この表 利用の場合だっなからからかり、戦から、一郎「田童氏つく」この表 利用の場合だっなからあるか、戦から、一部「田童氏つく」この表 のです。 鳥の阪端に就ていの講演がある 心理學常堂で

支那學會例會

近畿上壤

肥料熱談會

數、化、工學用等 凡 て 完 備 電話 保着 1638

南

後六時より樂友會前第一勝至では十月文學部内京都民俗學會では十月 太田喜二郎氏講演 民俗學會講演

本學議師大田東二郎義伯を揺いて 「美術統制 講演部上催で

玩具。縁起

共濟部の 三く、同好者の多數數据を希望 美術統制」に就いて氏の熟録

| △日本生命 法二、經二△ 就職は大橋にマー取像をつげ、緩 東洋網華 經一△野村議祭 | 決定をみてゐる、民間事業會社の

文學部主催の

CORONA Model S

就職座談會

來る九日午後、時から 第十八番教室で

裝ひ新たに 銀嶺は招く

第2 大型が影響が正は残る人は小型と からかず人が出て、「「ない」となったことには関数点 からかず人が出て、「最終」になったので、 が表しました。これで、「ない」は、「な

今年も菅平に合宿の

スキー部プラン

農學部長更迭

逸見教授新任

影機部長を輸住して、新たに逸見去る十一月十五日付で橋本教授が

活動寫真の

技術者講習

大職紹介 大職紹介

倫理學讀片會

四版出來流順歌風茶機

鬱木下桂風著 見返金銀砂子・原二度簡併講問六判特別布装・本文二度期

本 樂友會館便り

温陽楽「松籟」が一度び世に出るや

○和小板郎著 / 魔 十 / に 好て 後一時から天野破機研究室で、左交際部門、倫理學連貫會は本日年

窓ちにして初版、再版、三版を廣衞し 企道の整定群として騰者の間に漲り、

び掛けたスキー部合省のプランは、猫笛の裾野、菅平の新情悅に早中胸の高鳴りを感する學内スキーヤーに逸珠く呼 す時、夕陽に浮び出た影響の美しさ、銀道の魅惑スキーのの影響をシー・ハイルに記して勝路の直滑降に動言を含さ

のに青春の火花を散らさらと

社會學讀書會

言語學談話會







東部として、原石に、変は原の際に、 東部として、原石に、変は原の際に、 東部として、原石に、変は原の際に、 東のよる文、第に表には、集団書 たるなるやく、特に玩具領布の此等の ともなるやく、特に玩具領布の此等の ともなるやく、特に玩具領布の此等の ともなるやく、特に玩具領布の此等の が、

洋樂レコード 賈賈 森内 ストック・リスト選号 クレモ ナー (伊爾斯福州附軍ト202) 存級服特に高値買入 ストック・リスト送呈 クレモナ (河際明通専川階電上2023)

氣 樂 で明るい店 銘 酒 菊 正 宗 百歳編輯停化学町

おでんとお食事

ることは出来ないであらう。

主宰しつ、あり、その詩人に民間綴でもある。現に「女性経験時代より現代へ迄の女壇五

喜門—佐伯~

河井醉茗著

寫眞の御用は

電 養

百萬遍電停東一丁



かくの虹くして、市場に放出する通常及は管金通常がかなり念蔵行かかなり念蔵行があるりません。 が出動しさうな時には、日本銀行が出まる。 が出動しまりな時には、日本銀行が出まる。 が出動し手技が低を製却して、通行が出まる。 が出動し手技が低を製却して、通行が出まる。 ば、公復の利機徹は他々増加する

コンは起ることなく済む。即ち相にしても、所謂思性インフレイシ

をある。

赤字財政を機構し得るや。

フィリ

'n

ピンの獨立 その運動の史的發展

エボックリック情音が影響し、 一八七二戦艦のせる世級となる。メキショから歌毛した 「八七二戦艦をせる世級となった」人人で学来のである。メキショから歌毛した 「夏季を養べした」人人で学来をしている。メキショから歌毛が

びアメリカ合家殿の支配下に所伏

た。敷限りない士民選がその礎を

時だとか父は戴なる奈飲群ならとしても日本銀行に公債を押しつけて行くと云ふことは、暖夢の非常

内

外 評

藤 その激動に崩壊するであらら。種様がわれらを整治するであら 進 迴 い。革動自身を進めて、尺端に禁 との推説にあるから、響前な態態 によって、過火機の中の自動は気化 を行び、火焼態形に動くべからざ を作び、火焼態形に動くべからざ る作和を解説せよとまで敷くてる。 る

(*Social Fyrchology" 1995)という つてのみの。またロエスが機は 人種問題とは軍に反応につて 起された問題と議定によって 起された問題に過ぎたい。 (*Bee Queston, Povincialium, and Other American Problem, "

1929.) ALS 40

の 光電機器に関いて、子の別の 光電機器に関いて、その別の ハウスが応ら、更めてこ

名等人種などと、

マルダスは、関連機としております。 マルダスは、関連機とは、自動に関連性が関する。 カンとして、影響機とは関連して、変形に関連性がある。 かととして、影響機とは関連して、変形に関連性がある。 を難しななかりた音には関するがいても関い表す。 の影響が表すしてと関係を直接をあいても100~8名。この数 を難しるととって、と関係を表す。というなかのである。この数 を難しるとかりた。と関係を表す。というなかのである。この数 を対しるとなって、と関係を表す。というなかのである。この数 を対して、というなかのである。この数 を対して、というなかのである。というなかのである。というなかのである。というなかのである。というながのである。 を対して、というなかのである。というなが、 を対して、というなかのである。というなが、 を対して、というなかのである。というなが、 を対して、というなかのである。というなが、 を対して、というなかのである。というなが、 を対して、というなかのである。というなが、 を対して、というなかのである。というなが、 を対して、というなかのである。というなが、 を対して、というなが、 を対して、 をがして、 をがして 北支を戦みる暇がなかつた

が、目がといづれが観光なるかによつは、10万といづれが観光なるかによって、こと解析が観かます。ことに解析が、解を影響して見よう。

「一、北文は支那の領土であること
こ、北文は支那の領土であること
こ、北文は支那の領土であること は し 議州版の発売力と 南京歌権の発 は 便楽策は戦者の運動である、 そ は 優楽策は戦者の運動である、 そ

能振が成立する間大けと云ふこと 後つて心臓が消化され行くのは此 をかく、理解的には考へられない 元は戦闘

職立されない限り、何時までも樂館立されない限り、何時までも樂館が四清に行はれ得る歌嬢が

Ξ

に変数学を以て消化力、

でもなり、シックでもなり、 報のが加きるので、開後に残る、 出典的版な部の優在と公使の景觀に まる財歌者所とを今にして考へて な 置かればならぬ。 い。第二は金融事情、第三は経 会理警告を要しない。第四に最 会理警告を要しない。第四に最 会理警告を要しない。第四に最

公債

消化

力 0 限

度

山

れば、如何にも尤もなと等へうして、我が腰の過去南三蛇の質情を見

を 金の水、相郷まつてお時々の消化 がとなって現れるものと考へる。 がとなって現れるものと考へる。 の外ない。以為し公使一天歌りで の外ない。以為し公使一天歌りで の外ない。以為し公使一天歌りで



二月二十八日には北陽寺 回郷近 大郷が開かれ十四ヶ條の観念書を 可認し、麗近の真念を表瞭せる宗 ス等の大陳情觀の渡米。

山齒

科

院 JE.

體温計類停前 新藥各種電

小山 醫

光

東山藥局

電話上 五八二

一

支北自治

とその

發展

克 性

る、言語も同様であり、十地は 第に人種を同じくしてゐると異 な、言語も同様であり、十部支那と

立に成功し、健大経験としてアゼ

米西体験のパリ條約はこれを默殺

は成かに北島郷が直野のなった。 は成かに北島郷が直野の私運動の がしての底に、湯の虹く増布せる。 し

新るのローマ・カフリックを削続 野生な配針の短数を持し、配売・ サ て動付な。動は大家のは度数を持し、配売・ サ て動付な。動は大家のはまなで最もし カーの間はほぞ日の、第二二・近 の一の間にないてあるのである。か かるかに響くてみるのである。か の記憶を名在々し、サナメリスキの

が、大田にできる。 ・ 大田にできる。 ・ 大田にできる ☆ - 2めん、小山田小 出一郎氏は大阪原大教授、

ば、れも極近の態度に伴ふ繋が睡像 れも極近の態度に伴ふ繋がたが、 つと出来上つた。二十二使七手 ださうだから已むを得ない。 横城相豊殿のこをが高いが、 横城相豊殿のこをが高いが、 新紹刊

季節科理 新

正京

宗

電本一人三番

大で第三位の大概だが、遺憾なが はい貧乏子様山の悩みは深いもだし

介义

江川前にきる 鮨



| 選上げの郷東、比島砂糖は運賃保 ・ | 転が訳の電域は、低級キューバ で、 助も彫訳法の電域は、低級キューバ で、 のよいでは、 のないでは、 のはでは、 のはでは、

大大戦にケソンが高速。十一ンウエルス大大戦争があり

も動内的方面よりみても微いては後日論ずるとして、

新大正門 前育成洞籍東京 七三四番

后本○羊服 共済部 指灾 辛大业

店具家洋田吉

家試驗 太郎明滋翠葵 美術謄寫版印刷 洋

東人教授

年高等試験行政科受験體験に、機能が携。主度和保分に見るのは、

 まを飲り、贮量施工が設めの悪悪が すングが設は行う、運動をは、関サイル日本・ス・カッ すが必要がし、大いで中に日 は下に飲む運動する駅でとなった は下に飲む運動する駅でとなった に正している傾倒なります。 においたのでは、大いで中に日 はこれの傾倒なります。 義プリント 寫 FD 刷

カメラン要品・技術全般上田寓真器店の世界の 本 店· 京都帝國大學裏門前 援替大阪六四○六七番 援替大阪六四○六七番

164

いが、女童の展開が大側について、「エル・漫画を見まった」 のたま、影響なら新像画を記し、けれたなど、単位なので、 でからり表明のため、中心のが、 は、工作生きなる。毎日し、脚が、砂砂な夢をそなからたが、 は、工作生きなる。毎日し、脚が、砂砂な夢をそなからたが、 からい、脚のの日のが発音。日に、第一日に、砂砂がしているのが、 一日に、砂砂がしているのである。

B和大會は一日、本學制物で難行一名)によって陸母推議競技に火花を製版資本出版の第三国を議覧第一年前九時から参加十八校(一校)

▼新典(新宮俊一)▼合唱▼歌歌 (山口吹飾)▼新陸▼講美歌 (山口吹飾)▼新陸▼講美歌 △第二部 巍峨 司會 新宮俊一 ▼熟語▼遊戲▼フレゼント交換 ▼合唱▼讃美歌▼新命

本學やリスト教育で創一体の

リスマスの夕」を催さ

黔高專馬術大會

一日本學馬塲で盛大に學行 参加二十八校に達す

鹽顏見世寸感

と前状が無いばかりに同じ様な物 マミ云つた様へに、水蛭が見えるを何整見が何けられても来た何か と前は様へられない。資本と優 野差してるないと云本感じに引き 宮の一木切高た。左條大は寒寒伏 野差してるないと云本感じと引き ながれつくある。所感寒寒伏は雷

經濟同好會の

卒業生豫餞會

九日集會所で

¥ 8.50...¥ 10.00...¥ 12.00

上靴店

「一般であった。」
「一般で

で降り働いた間のためグラウン

わがラグビー部情敗

一切のスクラムを察はれ且つ回大 ドのスクラムを察はれ且つ回大 で、下のスクラムを察はれ且つ回大 で、下のスクラムを察はれ且つ回大

機能、衛動脈撃に二年漸勝の

た最後の決勝戦は多大の興味とした通りであるが、その副本ら

28 9

榮冠一

年に

して

王座再び

同大

電話は、のサイトンテンを思って、機能がありた砂性とすべい。 他は、サラーには近く、大き機能が上げない。 他も関係をしている。 他は、地域の大きない。 他も関係をしている。 他は、地域の大きない。 他も関係をしている。 他は、地域の大きない。 他は、地域の大きない。 他も関係をしている。 他は、地域の大きない。 他は、地域の大きない、地域の大

日次 これが震自野難即のものか全然見 事務所以 これが震自野難かしのする 見歌ぶとい ・ 一郷町 ごびしい歌じの古る 見歌ぶとい ・ アナマ るた。 表記がくに、三日 脚田に フトナップ の間 獣斑の目的がまだ損けつてるた、 ックの

ランを作り、紫鏡像形に那種似宜 突線、夜はヤシガニ環線といよう

椰

子 蟹 3

9

かい魅である。おづ大橋の御僧がかい魅であるが、大の性んであないのが、小別様な位に無人勝といよ或のが、小別様なは、一般であるが、

總長軟

迎

では、「おいました」では、「おいました」である。 「はっていいった」では、「おいました」であった。 「「おいました」であった。「「おいました」である。「「おいました」「「おいました」「「おいました」」である。「「おいました」では、「いました」である。「「おいました」では、「いました」である。「「いました」では、「いましん」では、「いましん」

プラを整定して、財政を制定して、対力を表現して、対力の式、側はおして、ため、なったに、実は機能は対して、対して、大型に関いて、対して、大型に関いて、対して、大型に関いて、対して、大型に対して、大型に対して、対して、大型に対して、対して、大型に対して、対して、大型に対して、対して、大型に対して、大型に対して、大型に対して、対して、対型に対して、対型に対して、対型に対して、対型に対して、対して、対型に対して、対して、対型に対し、対して、対型に対し、対型に対し、対して、対型に対し、対して、対型に対し、対型に対し、対型に対し、対型に対し、対型に対し、対型に対し、対型に対し、対型に対し、対型に対し、対型に対し、対型に対し、対型に対し、対型に対し、対型に対し、対型に対し、対型に対し、対型に対し、対型に対し、対型に対し、対型に対型に対し、対型に対し対し、対型に対し対し、対型に対し、対型に対し、対型に対し、対型に対し対し、対し、対型に対し、対型に対し、対型に対し、対型に対し、対型に対し、対型に対し、対型に対し、対型に対し

形京口北知戶路南

NODAIMAE

Our Tailoring and Cutting already recogn by many oritical eyes

歌る歌歌がはなれた後、中からは 本奏が起いる歌歌を招は大な後の と一系が立いる歌歌と成ない場合歌歌 歌、歌紅・歌歌の歌、歌からは 本奏が近い歌歌歌との歌歌の歌。 歌、歌紅・歌歌の歌、及びな歌全 歌、歌紅・歌歌の歌、及びな歌全 歌、歌紅・歌歌の歌、及びな歌全 歌のがは、野から一斉々を報き霊 が作業が近に初める思して全世三時 学院の歌を表して力した。 歌歌の歌

策を有しなかつたこと等が暴げら

れるだらら(質真は同大戦)

籠球惜くも

敗る

わづか三點の差で

松山を破つ 覇權は三高 全學高校别野球大會

甲南第二间截

8 41

混成酒の技術を 純粹洋酒

蹄

洋

酒

展

4

冬夜を歌ふ 七佐 高賀 1211 8 4 四弘

秋練查閱

本戦略整戦者間は終る十四日午後から影大グラウントで転間監難谷大郎によつて行はれる、岡日は留中司令臣可認中勝る大勢歌戦闘争のため水製の曲である

早都文部主催の全」り、明春一月上旬明治神宮で開催 籠球部京都に覇を稱ふ 愈よ全國決勝

が、資働者を対し、

木奥 60 3723 2012 32 京一中 第一次試合 第一次試合 本學の戦績左の添り

繰り上げ クリスマス

合唱團の發表會

明七日大ホールで

ある弊店へ…… 御賣拂は最も信田 不用書の新陳代謝 内 外 古 書

京大御用達ノ

木

木商店

各種ストーブ据附請負

を観い配達成にお受かせ、時のか観い配達成にお受かせ、時のかを記れたが、終光機能探り、つるを記れたが、終光機能探り、で、一中は火薬を上へ、ことに耐圧が高齢等よれなが野光であったとを報が上して、一年を力におきませく可能者をとくの指する人のよう。、保に着きなくの指する。 直眼鏡 京都帝大病院前 電話上(3)2279 接替大阪30580 京都帝國大學的影御指定所各盟科病會影和 特許國差優秀▽國光レンス發賣元

帝大御用宿

若葉

屋

同

(第上四九四五) (電出)七四〇〇 (電上四九八〇) (電上六二八五) (年11110日)

本店で記載する





N,S

みをどこまで堪へ、かつ生きのび

文學と文學者

武

野する自己海髪の身構へとしてで り得ない、といふ感情が、世間に り得ない。といふ感情が、世間に

存外、平板無味な様くあり

要へられた各谷の服因を、詩人 明 である。 都無難には、詩を書いた 数に、が影っ書いた故に、訴論を 書いた故に、読人であり、小悲奏

でいた。からなってあるの

を殺いだ。この計畫は冬然偏高味

こむにこの上なく都合のいく人物

終了の通告簿を受取った。

一般にも、人間的学化であるわけ いか であり、許蔵をなのである。そし い

事態の便見に置ぎない。生涯は、以外ではあり得なかつたとい。こ

のあとで、ゆくりなくも做は一つ」とすぐ、場高な影響と云っますからない。 この影響 一般密がソカリした。が、この影響 一般密が、水製剤物製に入製すると、助きない、水製剤物製に入製する

にこれが最大の青春の文製であり 中世期の東線と傳承の只中へ生 たのである。たと

醫學部建設時代以藤浪先生

造っといふ風に編纂をなす

ましましては関する情報がわれてかられた。常に機能が一個か作る に指数が表するためである。 ないでは、またないでは ▼ 8〜百番別以上の人の、伊藤州三戦 かぶれ有い心た左右は高数として 8〜百番別以上の人の、伊藤州三戦 かぶれ有い心た左右は高数が自動 外知報:連続についたのである。 ものでは無い。毎は名詞の溢れる地間(第つつて根接近右上に到出」 ところではらちっきょ

學位論文•卒業論文•其他 印書談タイプライター引受 騰寫版印刷

其の夜の眞心

婚

出新聞の旗の下

コスモポリス

むらぬ編輯方針の ならめ編輯方針の

社会で、 を重く思潮が奈邊 を重く思潮が奈邊 では、 で重く思潮が奈邊 でで重く思潮が奈邊 究の資に供す

!!仕奉の一均銭十三部樂俱マネキ A.急替

荒

配である場合、その相違を臓肌す

望 遠

、その機嫌のみが、存在の根據をもつてゐる

一般さらなのである

龜井勝一郎 切れか 日本文書の費用は、たとへばエル

藤田化粧品店

青春の文學 老衰の徴候 日本浪曼派のこと

な。すべての影響対比数すよき聴があらばれてくる。 電影報節回に 数を生み、よの響変を乗る性は、単なければならの際以である。 のこす。たと、は高重響をおはは、対が現地は、第の事等を与った く。 高電報が出いらなのマルク 時代である。現れは力と多板し く。 ある場所が出いらなのマルク 中代である。現れは力と多板し 空高くといふ彼の青春の詩をルのごとく振舞ふには、行かむ。無人よ、いざ、かなる。萬葉の歌人のごとく すぐも理地的であり飲養活物でなっているとく振舞ぶには、 の常後には必ず一種の野性的意力 てゐる。老我の悲しみを知つてゐ

で、大きな、 は、さんで、東京都々し、郷ち取りが書牌となるほとに、郷でいる。 は、さんで、東京都々し、郷ち取りが書牌となるほとに、郷でいる。 は、から、人は第1の情報といる言葉と言さかんだだけでも、当 は、さんで、東京都々し、郷ち取りが書牌となるほとに、郷でいる。 柳であり、 に、として 青春 な解説である。かかる反名に興ひ悲しり、許識といふ一形式は、外部所 を全くもたねといふことが、人間 者だと思ばない人がある。表者だと思ばない人がある。表

財 会員人として見直するたまでた。 財 会員人として見直するたまではし け らて戦七寒を乗り、横ばいつ知 は 収集を乗り、海の大変によるはし ない概率を乗り、海の大変を等へ であるは、証候の都の数数を等っ であるは、証候の都の数数を等っ であるは、証候の都の数数を等っ きと考へた動像は宇宙動感である ちと考へた動像は宇宙動感である が表した。それは縦七の車を書か 期から一個の不見な田

で書いたか、すると、それに嵌め 本 善

飲の

より思へゆ。

た事を懐ひ、敵員の世間か

★十七日より

温味富田

は時を置いて指揮の實の落ちる音

須挽ヴッテ超特作音樂

の超特の

ルツ合

あ かつた同じ手から彼ら亦、:要朋 と 音の任郷が、春の日の題個で豆の (株)

宗都保養院

呼吸器病科

型役所の建物の窓か

★五日より

ハーマン・ブリックスまターザンの新胃の

古の母親も時々其處へ仕立動を組

木が葉え、町ではその人は「星の ま・、なんが娯楽町の様をもつて、 はづれのその屋敷内に大きい根の 一般書の家は人が入りが多くて、またいと意楽の歌儀に彼はつた。駅一ろにこれはかなりの領手であった

いた時、研密は微分、

であるために評論家であるの

時折、後悔めいた態脈が心を捕へ

もはや、後悔に場所を用意してる

し得ない。痛感なし得るのは、自

籍なくピアノと答べよう。ピアノ

を生涯の仕事とし 表現形式に呼吸が撮へられてある。そしてぞのといふを覆きである。そしてぞの分が表現形式を贈らたのではなく

われを、

放頭に復職した。で

ので 郷なのは中可楽な声のものと自分とを含って、 割乗そのものと自分とを含った。 こうことである。 や交響曲にも段々共鳴する

藝術を如何に

賞する

ימ

オヂラとドーコレ

店器音蓄本志久

鑑 大田 賞 黑 元

樂の

は存在しない。それは、存在する は存在しない。それは、存在する のは、詩人、小部巻、歌歌をさる る。麦現の郷果が、存在を集態し た単語は、今日では、今気部なな解 を表述された。 い。これは美術などの鑑賞の場合

嶽槍 0

會海波總頂一覧東山小山肯時間都聽過的生質面決性人婦馬

度の裏面史には成り得るであらう

追悼録の發行に際してーー

友及門弟の追溯にの部に於ては特 今更これを云々す可きではない。

つた。 父親つこい時代の子供・、一年はりその頃、ある年齢度に、確かいまからついの概念に見えなくな、みながら返しまりに聞いてゐた。 の表がいついの無欲に見えなくな、みながら返しまりに聞いてゐた。

彼は彼目身の單純な人間理解

かばちや大當り ★廿二日より 婚が

よたもん稼業

業稼ん

6

信用を挽回するまで中々個

世界情勢から無關心 宗教、美術の都に

ものがある。本紙が 逐年他紙空聚倒 来

件を数へて最も京都 件の他に更に左の條 が表を正確、迅速の條 的なる特色を發揮し